

1 アメリカン・バレエ・シアターの公演『白鳥の湖』より群舞シーン。アメリカではバレエ、オペラ、オーケストラ、美術館など芸術関係機関の多くが公的支援を受けず、篤志家らの厚意に支えられている。

# Charity in



# Splendor

華麗なるチャリティのネットワーク

メトロポリタン美術館やニューヨーク近代美術館をはじめとする美術館だけに留まらず、メトロポリタン歌劇場やニューヨーク・フィル、アメリカン・バレエ・シアターなど世界最高峰のパフォーマンス・アーツもまた、アメリカでは篤志家たちの善意により支えられています。こうしたアメリカならではのチャリティの在り方を、自らもメトロポリタン歌劇場などの理事会に名を連ねる矢幡聰子さんの案内でご紹介します。

Photos : KATSUYOSHI TANAKA Make-up : MARI SUSUDA Hair Styling : ORIE SHISHIDO Text : YUMIKO SAKUMA Special Thanks : LOUIS VUITTON

忙しいスケジュールをやりくりして、年に数回ニューヨークを訪れる（株）コア・エス代表の矢幡聰子さん。その大きな理由のひとつは、メトロポリタン歌劇場の「ヤング・アソシエイト・ディレクターズ」の理事としての公務です。世界最大の文化機関でもあるメトロポリタン歌劇場は、驚くことに税金の補助は受けず、予算是篤志家たちからの寄付でまかなわれています。さらに運営も、無償のボランティアとして理事会に参加するオペラと歌劇場を愛する人々の助けを借り行なわれています。

「メセナとして、世界中の人たちが参加しています。特に女性たちが活発に活躍しているのです」

理事としての役割は、年に2回開かれる理事会の総会になるべく参加すること、そして「具体的にこれと前のこととして、常にに行ってきたと

決まっているわけではありませんが、歌劇場の役に立つことを考えたり、アジアとの関係を作るお手伝いをすること」だそうです。

例えば2011年に日本で1カ月にわたり行われた凱旋公演。矢幡さんは、来日した約300人のメンバーのなかでも、キャストや理事たちを迎えるホストとして夕食会などを開催したそうです。

「震災後、多くのオペラハウスが来日をキャンセルしたのに、メトロポリタンだけは予定どおり来日してくれた。感激しました」

### メトロポリタン歌劇場理事会「ヤング・アソシエイト・ディレクターズ」と「インターナショナル・カウンシル」を兼任する唯一の日本人理事

## 矢幡聰子さんが語る、 ニューヨークのチャリティ・マインド

「アメリカでは、歳を取ってからも楽しく豊かに生きようとするなかにチャリティがある」と語る矢幡さん。どのような志から、現在の多岐にわたる活動に携っているのでしょうか。

「アメリカでは、歳を取ってからも楽しく豊かに生きようとするなかにチャリティがある」と語る矢幡さん。どのような志から、現在の多岐にわたる活動に携っているのでしょうか。

矢幡さんは、メトロポリタン歌劇場の理事会に参加するオペラと歌劇場を愛する人々の助けを借り行なわれています。

「メセナとして、世界中の人たちが参加しています。特に女性たちが活発に活躍しているのです」

理事としての役割は、年に2回開かれる理事会の総会になるべく参加すること、そして「具体的にこれと前のこととして、常にに行ってきたと

忙しいスケジュールをやりくりして、年に数回ニューヨークを訪れる（株）コア・エス代表の矢幡聰子さん。

その大きな理由のひとつは、メトロ

ポリタン歌劇場の「ヤング・アソシエイト・ディレクターズ」の理事としての公務です。世界最大の文化機関でもあるメトロポリタン歌劇場は、驚くことに税金の補助は受けず、予算是篤志家たちからの寄付でまかなわれています。さらに運営も、無

償のボランティアとして理事会に参

加するオペラと歌劇場を愛する人々

の助けを借り行なわれています。

「メセナとして、世界中の人たちが活

発に活躍しているのです」

理事としての役割は、年に2回開

かれる理事会の総会になるべく参加すること、そして「具体的にこれと

決まっているわけではありませんが、歌劇場の役に立つことを考えたり、アジアとの関係を作るお手伝いをすること」だそうです。

例えば2011年に日本で1カ月にわたり行われた凱旋公演。矢幡さんは、来日した約300人のメンバーのなかでも、キャストや理事たちを迎えるホストとして夕食会などを開催したそうです。

「震災後、多くのオペラハウスが来

日をキャンセルしたのに、メトロポ

リタンだけは予定どおり来日してく

れました。感激しました」

聖心女子学院では初等科からボラ

ンティアの精神を、スイスの寄宿学

## Satoko Yahata

株式会社 CORE S LTD. 代表取締役



Metropolitan Opera International Council Special Event

### 矢幡さんのチャリティ社交 in N.Y.

2 世界的なオペラ歌手、サイモン・キーシリーサイド（右）やバルバラ・フリットリ（左）と一緒に。  
3 メトロポリタン歌劇場国際理事会代表のサリース・サマデン男爵夫人（中）、同歌劇場副理事長のマルセデス T. バスさん（左）と



1 メトロポリタン歌劇場。2 メルセデス T. パスさんの名前がついた歌劇場2階のグランド・ティアで催された、ブラックタイのガラディナー。パーティにはキャストの面々も参加しました。3 新プロダクションの『仮面舞踏会』



Metropolitan Opera Gala Premiere  
“UN BALLO IN MASCHERA”  
in November 8, 2012



## 矢幡さんもN.Y.に飛んだ大イベント メトロポリタン歌劇場ガラ・プレミア公演『仮面舞踏会』

「理事会」や「チャリティ」などと聞くと特別な活動のような印象がありますが、その努力には素敵な楽しみが用意されてもいます。

メトロポリタン歌劇場の場合、それがこのガラ・プレミア公演。オペラをこよなく愛する理事たちが一堂に会し、親交を深める場です。

矢幡聰子さんが2012年11月にニューヨークを訪れた大きな理由は、メトロポリタン歌劇場で行われた『仮面舞踏会』のガラ・プレミア公演。1859年にローマで初公開されたオペラファンにはじみの深いヴェルディ作の演目ですが、著名監督デビッド・アルデンによる新しいプロダクションのプレミア公演となりました。カクテル・レセプションに続いて話題の舞台を鑑賞し、観劇後にはキャストを交えてのブラックタイのディナーを楽しみます。

篤志家たちの寄付で運営されるメトロポリタン歌劇場にとって、年に数回行われるガラ公演は、オペラを愛するサボーターたちが世界中から集まってプレミアの舞台を楽しみ、また旧交を温める場所を提供するという意義があります。ガラパーティに招待されるのは、まとまつた額の寄付をしたパトロンです。

「歌劇場は、今回の出席者たちのようにオペラを愛し、支援しようとう人たちに支えられているのです」

またこのガラに合わせて、歌劇場のインターナショナル・カウンシルのメンバーが世界中から集まるミーティングもあつたそうです。

「ガラ公演に加えて、理事会の副会長であるメルセデス・T・パスさんがホストとなり、インターナショナル・カウンシルのメンバーのため晩餐会が開かれました。そこではバルバラ・フリットリとサイモン・キンリーサイドが、私たち出席者だけのために歌ってくれたのです」

### 矢幡さんもN.Y.に飛んだ大イベント

## メトロポリタン歌劇場ガラ・プレミア公演『仮面舞踏会』

矢幡聰子さんが2012年11月にニューヨークを訪れた大きな理由は、メトロポリタン歌劇場で行われた『仮面舞踏会』のガラ・プレミア公演。1859年にローマで初公開されたオペラファンにはじみの深いヴェルディ作の演目ですが、著名監督デビッド・アルデンによる新しいプロダクションのプレミア公演となりました。カクテル・レセプションに続いて話題の舞台を鑑賞し、観劇後にはキャストを交えてのブラックタイのディナーを楽しみます。

篤志家たちの寄付で運営されるメトロポリタン歌劇場にとって、年に数回行われるガラ公演は、オペラを愛するサボーターたちが世界中から集まってプレミアの舞台を楽しみ、また旧交を温める場所を提供するという意義があります。ガラパーティに招待されるのは、まとまつた額の寄付をしたパトロンです。

「歌劇場は、今回の出席者たちのようにオペラを愛し、支援しようとう人たちに支えられているのです」

またこのガラに合わせて、歌劇場のインターナショナル・カウンシルのメンバーが世界中から集まるミーティングもあつたそうです。

### Metropolitan Opera Gala Premiere

#### キャストたちも参加し、華やかなガラパーティに

4 歌劇場総裁ピーター・ゲルブ氏(左)と、5 主席指揮者ファビオ・ルイジ氏。6 ソプラノ歌手ソンドラ・ラドヴァノフスキー。7 歌劇場理事会チャエバーソンのアン・ジフさん(右)、バリトン歌手ディミトリー・ホロストフスキイ(中)



6



5



4



”メトロポリタン歌劇場は  
オペラを愛し、支援しようとする  
人々に支えられているのです”

鳴り物入りの『仮面舞踏会』のブ  
レミア公演。主役のアメリア役を  
演じたのはソプラノのスター、ソ  
ン德拉・ラドヴァノフスキーです



メトロポリタン歌劇場理事会チエアパーソン

## アン・ジフさんが語る 「篤志家に支えられる MET」

メトロポリタン歌劇場  
オペラ歌手を母にもつアン・ジフさん。彼女は歌劇場や公演を支えるだけでなく  
オペラを取り巻く社会的状況やその未来までも見据えた支援活動を行っています。

オペラ歌手だった母親に連れられて、7歳のとき、メトロポリタンの旧劇場を訪れたのが、ジフさんの最初のオペラの記憶。

「演目は『ホフマン物語』でした。衣装を着ている母の姿が、子どもながらにエキサイティングだったのをはつきりと覚えています」

以来、オペラと寄り添って暮らし始めたジフさん。大学を卒業して、半年強ウイーンに暮らしたときは、週に2~3度はオペラを鑑賞するほど。それでもメトロポリタン歌劇場と関わりをもつことになったのは'90年代に入つてからのことでした。

「いとこをオペラに連れていくのに、いい席が欲しくて、1000ドルの寄付をしました。当時の夫が著名な出版人だつたために、寄付を受

けた職員が私の名前に気がついた。それで夫婦でオペラに招かれ、当時の理事会のチエアパーソンに会う機会を得たのです。そこから諸問機関のディレクターに就任し、そのうち医師だった父親の影響もあってもともと社会意識が強く、精神保健福祉士としてニューヨークの貧しい地域で仕事をしていたジフさん、結婚してからは、請われて環境保護や子どものためのチャリティの理事を務める一方、メトロポリタン歌劇場の理事になる以前から、カーネギーホールなどの文化機関の理事会などにも参加していました。

「オペラと音楽は私の人生の一部。メトロポリタン歌劇場は世界で一番大きな文化機関です。それを維持で

きなかつたらパフォーマンス・アーツは死んでしまう。そして地球を救わなければ、音楽を演奏する場所さえなくなってしまう。ですから環境問題に取り組むこと、そしてメトロポリタン歌劇場を盛り上げるために自分ができることをすることは、私にとっては与えられた使命です」

ニューヨークでは、メトロポリタン歌劇場のような文化機関は、運営費の大半を篤志家からの寄付でまかなっています。2008年に金融危機が世界経済を襲つたときには、篤志家からの寄付も大きな打撃を受け、その影響は今もじわじわと続いているのだとか。そんな状況にあっても多額の寄付をし、ファンド・レイジングをすることで大変な貢献をしているジフさんのメトロポリタン

# Ms. Ann Ziff

メトロポリタン歌劇場理事・ジュエラー



## Tamsen Z タムセン ズイー

### アン・ジフさんのジュエリーブティック

幼少のころからオペラに対するのと同じ情熱をジュエリーや宝石にも感じ、30年以上もの間、宝石やアンティークのジュエリーを収集してきたジフさんが始めたファインジュエリーのブランド「タムセンZ」。2010年にはマディソン・アベニューに旗艦店をオープン。宝石がもつ本来の美しさを生かした品のあるデザインに定評があります。「ひとつひとつ違う石の美しさには飽きることがない。いつもユニークな石を探しています」

1,2 貴重な石をふんだんに使った、贅を極めたデザインのジュエリーが多い。3,4 マディソン・アベニューに併むサロンのような趣の旗艦店。淡いバーブルを基調に、マホガニーの家具がゆったりとした雰囲気を醸し出しています



#### Data

783 Madison Avenue (66th Street and 67th Street)  
New York, NY ☎+1-212-360-7840 <http://tamsenz.com/> ④11時～18時（夏期は営業時間が長くなることもあります） ⑥日曜

### アン・ジフ

ニューヨーク出身。オペラ歌手ハリエット・ヘンダースを母親にもち、幼少時代からオペラに触れる。夫で出版会社の社長ウィリアム・バーナード・ジフ氏と死別した後、2004年にジュエリーのブランド「タムセンZ」を立ち上げた

「理事たちを違う世界の人間と思つてほしくないし、同じ目的を共有するオペラの関係者が集まれる場を提供したい。こういったことは、理事としての仕事ではありませんが、私は自分の義務と考えています」

3年ほど前、景気が悪いときに、ジュエリー・デザイナーとして高価な宝石を使う気持ちが萎えていたジフさん。そんなとき、メトロポリタ

ン劇場に対する愛は相当なもの。金銭的な援助だけではありません。キャストや関係者をねぎらうためのパーティや集まりの場を設けることは、彼らの士気を高めるために重要なことですが、歌劇場からの予算がないことも。ジフさんは年に10回ほど、キャストを家やレストランに招いて、交流の場を設けているのだといいます。

富豪たちからの寄付が減った今、これまでどうしても富裕層のための娯楽というイメージが強かつたオペラの良さを、より広い層に知つても

なくなりました。シャンデリアが出たことを知り、シャンデリアのビーズやガラス、クリスタルを使って、ジュエリーのコレクションを発表。このコレクションの売り上げは、すべてメソットに寄付しています。

富豪たちからの寄付が減った今、これまでどうしても富裕層のための娯楽というイメージが強かつたオペラの良さを、より広い層に知つても、これまでどうしても富裕層のための娯楽というイメージがあるといふ。現在メソットでは、歌劇場やシンフォニーを持たない世界中の自治体の映画館で、オペラを上映する「メトロポリタン・オペラ・ライブ・イニ・HD」というプロジェクトが進行中。6年前に発足して以来、64カ国での1900劇場で上映し、延べ1000万人以上の人々が、スクリー

ンでオペラを楽しんだそうです。 「オペラはエリートの文化で未来がないという人がいます。でもこの数字を見ると、オペラが死ぬとは思えない。オペラに初めて触れた子どもたちが衣装や劇場の美しさ、キヤストの声に恋をして、この文化を愛してくれるることを願つてやみません」

インタビューの最後に、ジフさんは惹きつけてやまないオペラの最大の魅力は何か聞いてみました。

「オペラを構成する要素はすべて好きですが、何かひとつ選ぶとしたら、喉を楽器として使う歌い手の声だと思います。人間があの音を出せて、マイクを使わずに劇場の隅々まで届けることができる。何十年もの間、定期的にオペラを鑑賞し続けてきましたが、その事実にはいまだに感嘆せざるにはいられないのです」

**“メトロポリタン歌劇場を盛り上げるための諸活動は  
私に与えられた使命です”**



カルラ・ボッシ=コメリ

ミラノ在住。美術館業界の国際協会「ワールド・フレンズ・フェデレーション・オブ・ミュージアム」の議長。ヴェニスやサルディニア島のほか、ニューヨークやブエノスアイレスにも家を持ち、ヨーロッパとの間を定期的に往復する

## Manhattan School of Music

マンハッタン・スクール・オブ・ミュージック

ジュリアード学院と並んでニューヨークの音楽学校の双璧といわれる名門。1917年に開校した伝統をもち、学士、修士、博士号のプログラムがある。特にジャズとクラシックに強く、学生たちによるパフォーマンスのクオリティには定評があり、ロン・カーター、ハリー・コニック・ジュニアなど、数多くの著名音楽家を輩出してきた。開校以来、アップバー・ウェスト・サイドに校舎がある。学生の約3割が留学生。<http://www.msmnyc.edu/>



メトロポリタン歌劇場以外にも、芸術への幅広い支援が

## 芸術家の養成機関もまた、 善意に支えられている

篤志家同士のつながりから、さらに充実した支援活動が実現することも多々あります。

カルラさんと矢幡さんの出会いもまた、そんな幸運を名門音楽学校にもたらしました。



カルラさんが寄付したリハーサルホール

## Carla Bossi-Comelli Rehearsal Hall

ニューヨーク滞在中に理事を務める音楽学校

を訪ねた矢幡さんと、母校の先輩にあたるカルラさん。彼女が改修費を寄付したホールを訪問するのは、矢幡さんも初めてでした

ティアで公務をもつのがマンハッタン・スクール・オブ・ミュージック。理事会とインターナショナル・ボーディング・アドバイザリーと呼ばれる諮問機関に名前を連ねています。彼女をこの名門音楽学校に誘ったのはイスラエルの寄宿学校、ル・メニル校の大先生、カルラ・ボッシ=コメリさん。

「学校としては多くの留学生を迎えるなど、アジアとの文化交流に力を入れていきたい。そこで聴子に声をかけ、理事をお願いしました」矢幡さんは理事に就いてから、香港の芸術協会の会長と校長を紹介し、その結果、昨年11月にニューヨークで香港の音楽祭が実現。今年も開催の予定で、先々は日本の音楽祭の開催にも意欲を燃やしています。「自分のサジェスチョンが実現して、双方に喜んでいただけた。世界の中の一人として、貢献ができるのはとても喜ばしいことです」

カルラさんがこの学校と関わりをもつて約10年。最近では、老朽化が進んでいたリハーサル用のホールの改修費を寄付しました。

「音楽の練習には音の聞こえ方がとても重要。学生たちに喜ばれるのがいちばん嬉しいことです」

イタリアでは、長年美術館の運営に関わってきたカルラさん。アメリカの文化支援のシステムには学ぶべきところがあるといいます。

「欧州では、篤志家ができることは寄付だけ。ここではその機関を改良するためには意見も言えるのです」

好みの芸術から支援を始めませんか？

## ニューヨークのアートチャリティ・ガイド

いきなり本格的なチャリティ活動を行うのはハードルが高いという皆さん。

自分が好きな芸術を、できる範囲で支えていくことから始めてみてはいかがでしょう。

### American Ballet Theatre

#### アメリカン・バレエ・シアター

ロシア革命中に亡命したミハエル・モルドキンが設立したモルドキン・バレエを前身として、1939年に設立されたアメリカでは数少ないクラシックのバレエ・カンパニーのひとつ。アメリカで初めて『白鳥の湖』を上演した。母体劇場であるリンカーン・センターのメトロポリタン歌劇場で毎年8週間にわたるプログラムを組むほか、海外での巡業も行っている。2011年には来日公演した。



4

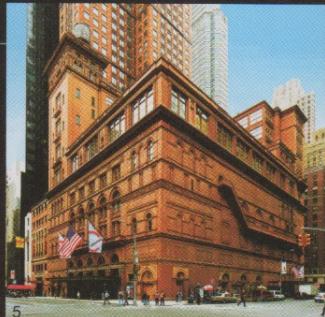
#### Data

890 Broadway New York, NY ☎+1-212-477-3030 <http://www.abt.org/> 寄付は50ドルからオンラインで受け付けており、年間75ドル～、150ドル～、300ドル～、500ドル～、750ドル～と会費が5段階に分かれた特典付きの会員制度に参加する支援法もある。

### Carnegie Hall

#### カーネギーホール

クラシックやジャズからポップまであらゆるジャンルのコンサートを開催するニューヨークで最も由緒正しいホール。慈善家のアンドリュー・カーネギーが1891年に設立した。N.Y.フィルが拠点を移して以来、レジデンス・オーケストラはないが、海外のオーケストラや音楽祭を数多くホストしている。年間会費2万ドル以上のバトロンになると、コンサートのスポンサーになることができる。



5

#### Data

881 7th Avenue New York, NY ☎+1-212-247-7800 <http://www.carnegiehall.org/> 寄付はオンラインで5ドルから受け付けています。メンバーシップは100～1500ドルまで6段階。さまざまな特典がついた2500～5万ドルの7段階のバトロン・プログラムもある。

### The New York Philharmonic

#### ニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団

アメリカ5大オーケストラのひとつで、ニューヨークでは唯一。リンカーン・センターが母体劇場。株式から年金型貯蓄、ラジオの放送時間、ボランティアといった多様な形の支援を受けている。最近では、3年間で25万ドルを調達するために、2000ドル以上を寄付すれば楽団員の椅子に名前を入れてもらえる「ユリーズ・チェア」というキャンペーンを展開するなど、寄付を集めめる方法がユニーク。



6

#### Data

10 Lincoln Square, Avery Fisher Hall, New York, NY ☎+1-212-875-5656 <http://nyphil.org/> さまざまな特典のついた段階式の会員制度（100～1200ドル）、高額寄付のバトロン・プログラム（2000～1万7500ドル）に加え、株式の形での寄付も受け付けています。

### The Metropolitan Museum of Art

#### メトロポリタン美術館

1860年代に市民のグループによって発案され、1870年に開館したアメリカ最大のミュージアム。およそ19万m<sup>2</sup>の敷地面積がある。運営資金を募るためにベネフィット・ガラにはN.Y.の社交界が集結する。年会費550ドルの会員になると夜間のイベントに招かれたり、1200ドルだとバトロン・ラウンジに入れる。2万ドルの会員になると、館長自らプライベートのレセプションを催してくれる。



1

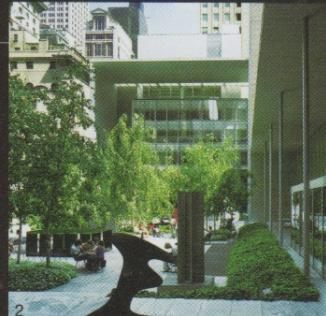
#### Data

1000 Fifth Avenue New York, NY ☎+1-212-535-7710 <http://www.metmuseum.org/> 開9時半～17時半 金・土曜 9時半～21時 (祝日を除く月曜と一部の祝日) 寄付は25ドルから受け付けていて、年間60～2万ドルの会員制度あり。

### The Museum of Modern Art

#### ニューヨーク近代美術館

1929年に設立された近代美術専門の美術館。アーティストや学生にはディスカウントを提供しつつ、入場料が無料になる年会費制度を取り入れている。1200ドル以上の寄付をすると、夜間のイベントに招待されたり、カタログが提供されたりする。年間6000ドルの会員になるとキュレーター・ディレクターと朝食を撮ったり、年間1万2000ドルでプライベートツアーを催してもらうこともできる。



2

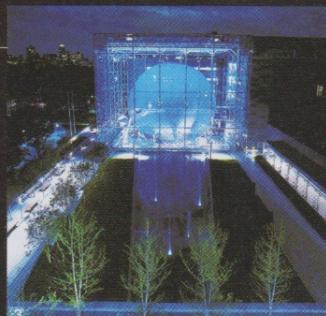
#### Data

11 West 53rd Street New York, NY ☎+1-212-708-9400 <http://www.moma.org/> 開10時半～17時半 金曜～20時 (火曜、一部祝日) 寄付はオンラインで1ドルから可能。入場料が無料になる年間85ドルの会員制度のほか、7段階の会員制度あり。

### American Museum of Natural History

#### アメリカ自然史博物館

1869年にアッパー・ウェストにオープンした科学博物館。数々のジオラマとプラネタリウムが特に人気。時間外の入館やプラネタリウムでのパーティへの入場、冬期のワークアウトプログラムへの参加など、ユニークな特典がある会員制度が人気。2万5000ドル以上の寄付で、ショーケースやギャラリーに名前を入れてもらうことができる。シアターの椅子なら2500ドルで名前を入れてもらえる。



3

#### Data

200 Central Park West at 79th Street New York, NY ☎+1-212-769-5100 <http://www.amnh.org/> 開10時～17時45分 感謝祭、クリスマス以外は無休 オンラインでの寄付は25ドルから受け付けています。年会費60～1000ドルの会員制度、高額寄付のバトロン制度あり。